

物流管理士講座を開講

日本3PL協会 価値ある物流を提案

日本3PL協会(和佐見勝会長)は5月31日、東京・浜松町のメルパルク東京で第5期日本3PL管理士講座が開講し、29人の受講者を迎えた。開講にあたり和佐見会長は「顧客に対し、ローコストオペレーションの物流効率化を提案する上で、自ら首を絞める提案

は歓迎しない。物流をコストと捉えるよりも価値として見据える提案をした。我われがコスト以上の価値を創出することで持続継続した顧客との信頼を得ることが重要」と促した。



講演する神澤氏

当日は、特別講演として「物流改革の方向性と3PLへの期待」と題し、神澤直子国交省総合政策



局物流政策課物流産業室流通業務総合効率化事業

本日のレベルが大きく低下したのではなく、各国の

役員を囲む
受講者たち

推進官が講演した。神澤氏は、改正総合物流施策大綱のレクチャーに併せて「アジア圏における日本の物流パフォーマンスが低下してきているデータがある。日

パフォーマンズが上がってきていることに注目の貨物量が0・4倍低し、件数は1・8倍に増加し、小口多頻度化がみ取れる。メーカーのり上げに対する物流コスト比率の低下は、物流業者へのしわ寄せ、低コストを強いられる事業境の表れ」と現状を示した。

受講者たちは概要、業務、マネジメント、総演習、面接を経て11月日の終了式を迎える。